



日本の大型ロケット開発の現状と 『ロケットエンジン』を支える 最先端科学技術とは

宇宙に向けて飛び立つロケットは、最先端科学技術の結晶とも言われる。その飛行を可能とするロケットエンジンは極限の環境の中で機能することが求められるために、使用される金属材料や加工には技術の粋が凝らされている。

このシンポジウムでは、ロケットエンジンを金属工学からスポットを当て、その技術を紹介するとともに、静岡県の企業が果たしている役割と将来展望について考える。

平成30年

3/3 土

入場無料 定員250名

13:30~17:00



静岡理科大学

学生ホール3階 300講義室

基調講演

H-IIA/Bロケットを支えるものづくりの技術 —液体ロケットエンジンの極限設計—

講師 安井 正明 氏

三菱重工業株式会社防衛・宇宙セグメント宇宙事業部宇宙機器技術部
主席技師(H-IIA/Bエンジン プロジェクト・マネージャー)

パネルディスカッション

ロケットを支える金属加工技術と静岡でのその育成

- | | | |
|----------|---------|---|
| パネリスト | 望月 一男 氏 | 静岡県経済産業部 商工業局 技監 |
| | 安井 正明 氏 | 基調講演講師 三菱重工業株式会社 |
| | 鈴木 誠一 氏 | 株式会社エステック 代表取締役
(静岡航空宇宙産業プロジェクト「協同組合 SOLAE」メンバー会社) |
| | 藤原 弘 | 静岡理科大学 理工学部 機械工学科 教授 |
| コーディネーター | 増田 和三 | 静岡理科大学 理工学部 機械工学科 教授 |

お問い合わせ 静岡理科大学 事務局社会連携課
TEL 0538-45-0111(代) FAX 0538-45-0110
http://www.sist.ac.jp

日 程	
13:00 ~	受付
13:30 ~ 13:35	開会
13:35 ~ 14:45	基調講演(70分)
14:45 ~ 15:00	休憩
15:00 ~ 16:50	パネルディスカッション(110分)
16:50 ~ 17:00	閉会

申込方法	
①裏面の受講申込書を記入し、FAXでお申込み	
②本学ホームページ (http://www.sist.ac.jp/) 「地域交流・公開講座」内 「イベントお申込み」からお申込み	

※定員になり次第、お申込みを締切ります。